

# 朝陽第三小学校だより

令和6年1月30日発行 TEL 0235-22-0318

## さあ、総仕上げをしよう



今年度も残すところあと2ヶ月となりました。各種感染症の心配はまだ続いているが、みんな元気に登校できますよう、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、2・3月は学習のまとめの時期であることはもちろん、6年生を送る会等で感謝を伝え合ったりお互いの成長を認め合ったりと、生活の振り返りをする時期でもあります。学習・生活共に丁寧な仕上げと振り返りをして、達成感と充実感を持って進級できるよう、1日1日を大切にしていきましょう。

### \*2月 宝な行事予定

- 1日（木）ベルマークの日 ノーメディアデー
- 3日（土）三陽しぐさの日
- 5日（月）委員会活動 学校集金振替日
- 6日（火）全校集会 ロング昼休み
- 7日（水）年間反省会議
- 8日（木）PTA事務局会
- 11日（日）建国記念の日
- 12日（月）振替休日
- 13日（火）三陽しぐさの日 上学年音楽集会  
新入学児童保護者会



- 15日（木）ノーメディアデー ロング昼休み  
6年生を送る会  
コミュニティスクール事前打合せ会
- 19日（月）代表委員会
- 20日（火）ロング昼休み
- 21日（水）海洋教育出前授業（5年）  
PTA評議員会
- 23日（金）天皇誕生日 三陽しぐさの日
- 26日（月）卒業式練習
- 27日（火）～29日（木）  
保護者会（通知表配付） 教育相談
- 28日（水）論語の日
- 29日（木）ノーメディアデー

**お知らせ**これまで緊急連絡用としてプリペイド携帯を使用しておりましたが、メールシステムが整い日常的に活用なされているため、本日で運用を終了いたします。今後も緊急時はメールでの連絡をお願いいたします。

## ★保護者対象「三陽の子いきいきアンケート」の結果と考察★

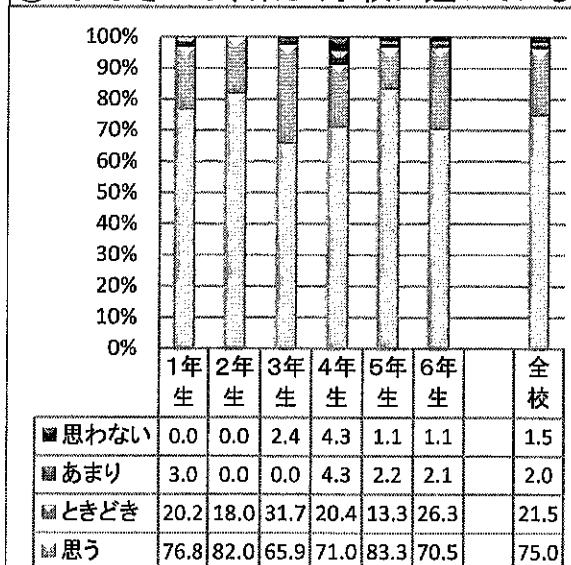
今回よりQRコードからのWeb回答でのアンケートでしたが、回収率は例年並みの、95.9%でした。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。授業参観全体会で詳しく報告する予定でしたが、中止となりましたので紙面での報告のみとさせていただきます。

### 【全体的な考察】

学校は家庭、地域との協力を得ながら教育を行っています。関わり合い、学び合いを通して、様々な経験や学習を積み重ねながら、一人ひとりの成長を支えていく場所です。家庭ではできないコミュニケーションやきまりを守る力、相手を思いやる心を育てています。これからもこのを目指す姿を達成するために、家庭、地域と一緒に子ども達の教育に当たっていきます。

数値的には、肯定的な回答が90%を超える項目が、9項目中7項目(昨年度は9項目中6項目)でした。家庭での「三陽しぐさ」実践の項目については、約65%にとどめました。児童用アンケートでは、ほとんどの学年で80%以上が肯定的な回答をしていることから、今後も家庭での普及実践を一層はたらきかけていくことが大切だと考えています。機会があるごとに振り返りを行いながら、三陽しぐさが身近な行動目標として身についていくよう、取り組んでいきたいと考えています。今後は、全体的に「ときどき」や「まあまあ」を「思う」に上げていくことを大事にしていきます。

### ① お子さんは、楽しく学校に通っていると思いますか？

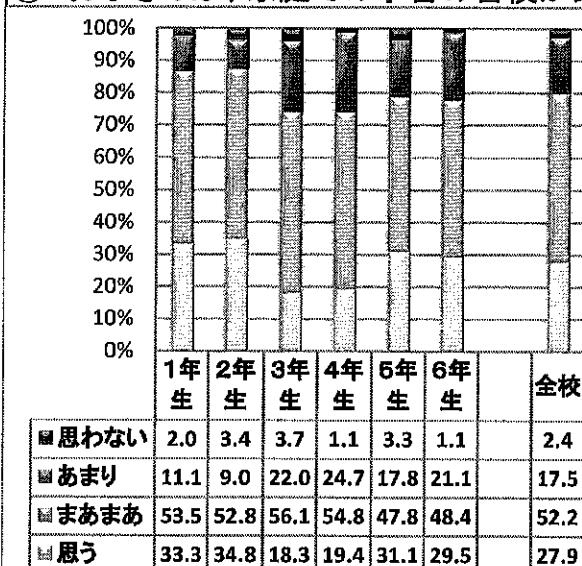


「思う」と「ときどき」を合わせると96.5%（昨年度96%）という結果です。昨年度並みに高い評価となりました。

コロナ感染症が5類に移行となりましたが、各行事の直近の状況を鑑みて必要な感染症対策をとり、保護者の協力を得ながら学校生活を送ることができました。

「思う」が75%（昨年度70.9%）に増えたことはうれしい事です。今後ともこの数を増やしていく様子を、教師と子ども、子ども同士の関わりを引き続き大切にしていきたいと思います。そのためにも、子どもの様子について、日頃から家庭と学校とが連絡を取り合っていくことも大切だと考えています。また、子どもにとって、わかりやすく達成感のあるたのしい授業づくりに努め、学校に通うことが楽しいと思えるようにしていきたいと思います。

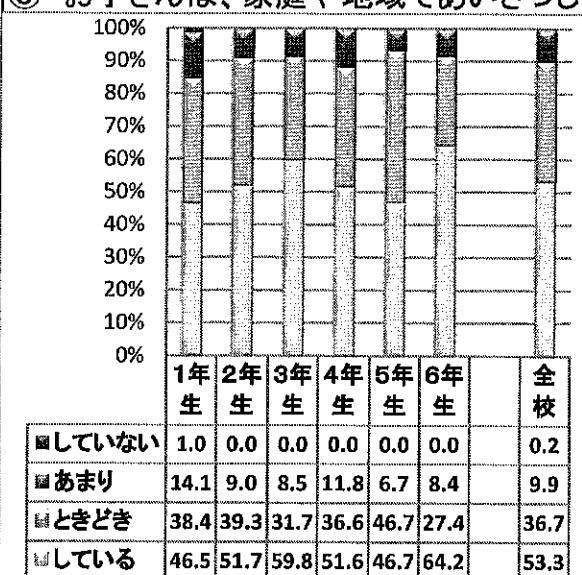
### ② お子さんは、家庭での学習の習慣が身についていると思いますか？



「思う」「まあまあ」を合わせて80.1%（昨年度82.2%）でした。三小では家庭学習の時間を「10分×学年」以上とし、宿題の他に自主勉強にも取り組むようにしています。ワークテストや学力テストなどは事前に期日等をお知らせし、めあてを持って家庭学習を進められるようにしています。学習の理解度をチェックするスキルアップテストは、短い範囲で学習直後に実施し、内容理解ができるところを見つけて、すぐに復習や再確認ができるようにしています。また、学年に応じた「家庭学習のてびき」を一人ひとりに配付し、勉強の進め方の参考になるようにしています。

今後はタブレット端末を活用した学びや各自の課題に合った学びも進めていきます。各家庭での働きかけをお願いしながら、家庭学習の定着が図られるようにしていきます。

### ③ お子さんは、家庭や地域であいさつしていますか？

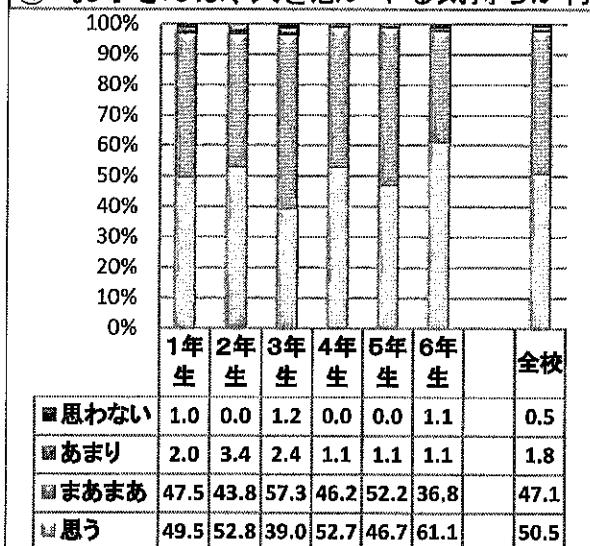


肯定的な回答（「している」「時々」）は全体で90%（昨年度89.1%）と昨年度並みでしたが、「している」が7%程度増えました。

感染状況にもよりますが、マスクを外す場面が増え、一人ひとりの表情や声が直接伝わってくることで、本来のような自然なあいさつ交歓ができるようになったことも影響しているように思います。

あいさつについては本校の指導の重点の一つとして掲げています。今年度も児童会の活動として「にこくらげシール」等の取り組みを積極的に進め、改善や意識化を図ってきたこともあり、相手を意識してあいさつをするようになってきたと感じています。保護者や地域の方々、交通指導員や見守り隊の方々にお褒めの言葉をいただくこともありました。

④ お子さんは、人を思いやる気持ちが育っていると思いますか？

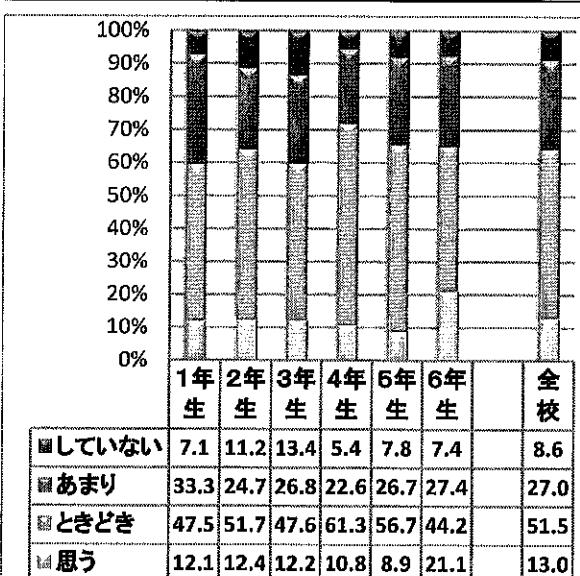


「思う」「まあまあ」が97.6%（昨年度96.8%）と、昨年度と同様に高い結果でした。「思う」が「まあまあ」を上回ったのもうれしい限りです。

これらは、日頃から子ども達が家庭や地域で大切に育てられ、思いやりの心を育んでいること、学校での道徳の時間の指導、本校の伝統である「三陽しぐさ」などの取り組みによって思いやりを持ち、助け合うことの大切さを実感し、人を大事にする心が育っているからなのではないかと思います。

今後も、「いじめ防止」の指導に力を入れながら、思いやりの気持ちをさらに深め、その思いを行動に表していくことができるよう、学校・家庭・地域が、同じ姿勢で指導に当たっていきたいと思います。

⑤ ご家庭でも「三陽しぐさ」を意識して実践していますか？

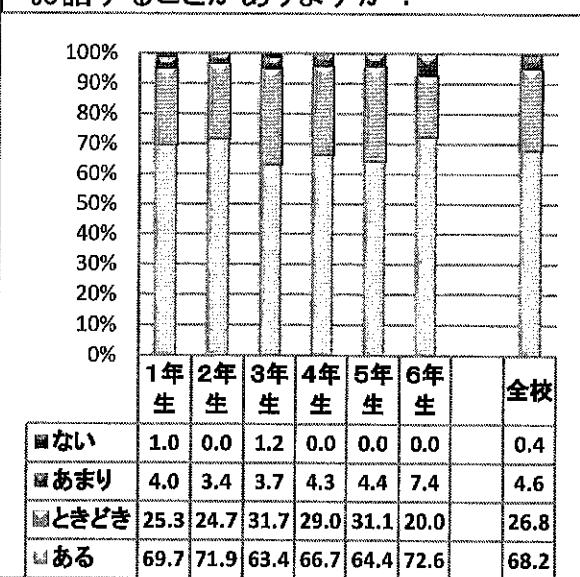


「ある」「ときどき」が64.5%（昨年度59.7%）と、昨年度より向上しているものの、3割以上で課題意識があることもうかがえる結果となりました。

学校では、「三陽しぐさの日」をひと月に4回（3・13・23・30日）設定し、廊下にのぼり旗を設置して意識を高めたり、児童会や各学級で呼びかけをするなどして取り組んできました。また、1年生の家庭向けに、家庭用の三陽しぐさポスターを配付し、内容の周知や活動の理解に努めてきました。

学校の取り組みと合わせて家庭でも「三陽しぐさ」の実践を意識していただきながら、子ども達の心を耕し、成長させていただきたいと考えています。子ども達が行動の指針として「三陽しぐさ」を想起できるよう、自分達の合言葉として唱えられるように、粘り強く取り組んでいきたいと考えています。

⑥ 学校からのお知らせやお便りなどを通して、学校の様子や活動の様子を親子でお話することができますか？



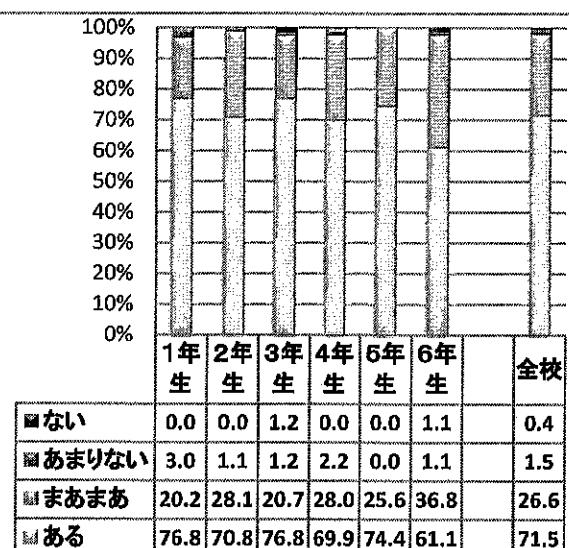
肯定的な回答が、全体の95.0%（昨年度95.7%）と高い割合となりました。

学校からは、担任が発行する週1回の学級だより、月1回の学年だよりと学校だより、保健だより、図書だよりを定期的に発行しています。

学級だよりでは、一週間の学習予定など必要な情報とともに、各担任の考え方やクラスの様子がわかるような内容を心がけています。こうした情報をきっかけに親子で学校や学級のことについて話題にしてコミュニケーションをとっていただくことは、学校でのお子さんの様子を知る上で、またお子さんの心の状態を知る上でも大切なことだと思います。

今後もぜひ、おたより等の学校からの情報をきっかけにして、家庭での親子の会話をつなげていただけたら幸いです。

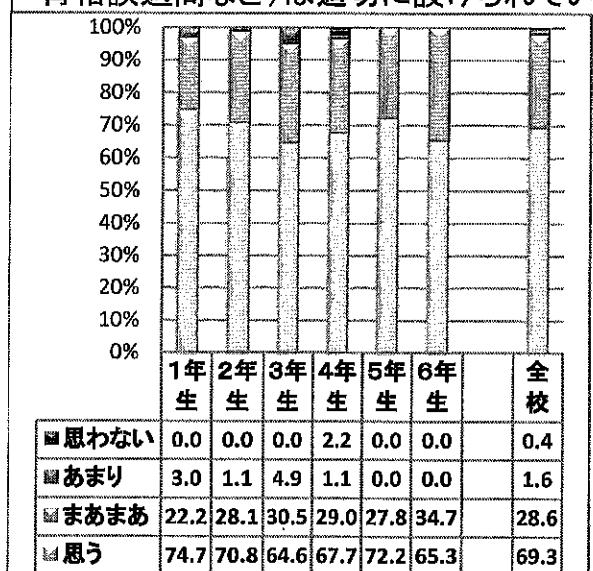
⑦ コロナ感染予防対策を講じての学校行事の持ち方は適切だと思いますか。



「思う」「まあまあ」が98.1%（昨年度97%）と昨年度同様に高い結果となりました。コロナ明けで、行事の制約は緩和されてきていますが、学校行事の持ち方については、概ね肯定的な評価を多くいただきました。

アフターコロナの活動は、すべてが従来の形態の戻すわけではなく、活動のねらいやあり方を再検討し、ねらいにふさわしい方法を工夫して実施していきたいと考えております。子どもたちの心身の成長に資する行事や活動になるよう、今後も努めてまいります。

⑧ 担任と保護者が話し合う機会(家庭訪問・授業参観・保護者会・学級懇談会・教育相談週間など)は適切に設けられていると思いますか？

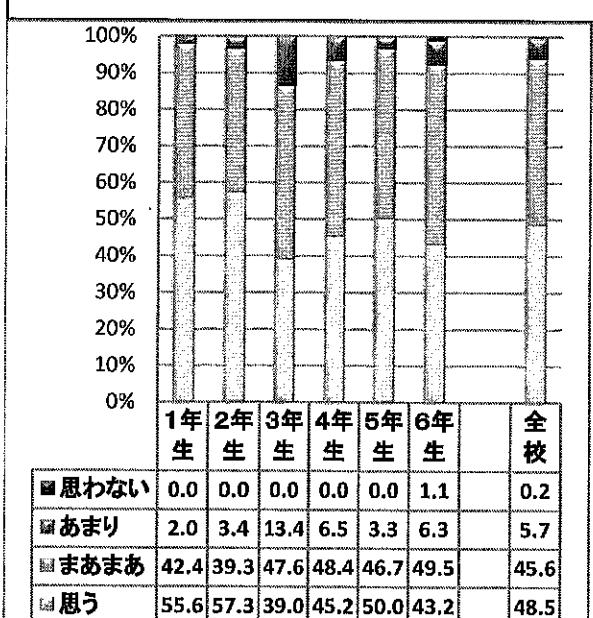


97.9%（昨年度96.8%）と昨年度とほぼ同様に肯定的な結果でした。

授業参観は参観人数の制限をなくして行いましたが、保護者の皆様の協力によりスムーズに授業参観が行われ、子ども達の学校での様子を見ていただくことができました。4月には学級懇談会を設けることができ、保護者同士が顔を知る意味でも大事な機会となりました。次年度も感染状況を見ながら懇談の機会を設けていきたいと考えております。

毎月の教育相談については、保護者の方の育て上の相談などに対応できるよう実施してきました。今後も継続していく予定ですし、相談日以外でも随時対応しておりますので、面談の時間では不十分という方も含めて、お気軽にご連絡ください。

⑨ いじめの未然防止や、いじめの対応は適切に行われていると思いますか？



94.1%（昨年度92.3%）が肯定的な評価をいただいておりますが、つらい思いをさせてしまった子ども達がいることも事実です。

学校では道徳の学習や学級活動を中心にして「いじめをしない・させない」を学校の重点指導として取り組んでいますが、教員の見えていないところでのトラブルもあります。学校ではいじめの報告があった場合は、担任だけでなく、毎回管理職も交えて話し合いを行い、その後の対応を考えております。日常の対応に加え、年2回のいじめアンケートや児童教育相談の機会も大切な確認の場ととらえています。

今後も未然防止に力を入れ、更にアンテナを高くし早期発見早期解決に向けて丁寧な対応を心がけてまいります。保護者の皆様からは、心配な様子が見られた場合は、早めにお知らせください。併せて、ご家庭での「いじめをしない」指導もお願いいいたします。